ねんきんだより Pensions News

２０歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったとき、病気や事故など、いざというときのために、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた制度です。20歳以上60歳未満のかたは加入することが義務付けられていますので、20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう。

◎将来の大きな支えになります

国民年金は国が責任をもって運営するため、給付は生涯にわたって保障されます。

◎老後のためだけのものではありません

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族が受け取れます。

「納付猶予制度」

学生でない20歳から50歳未満のかたで、ご本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に保険料の納付が猶予される制度です。

「学生納付特例制度」

学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合に保険料の納付が猶予される制度です。

問合せ　太田年金事務所 ☎49－3716

消費トラブルにご注意！

鍵開け依頼で高額請求

【事例】

玄関の鍵が開かなくなり、隣人に相談すると「鍵開け５,８００円から」と広告表示している事業者を見つけてくれたので、その事業者に鍵を開けてほしいと連絡した。来訪した作業員は、特に作業内容や料金を説明することもなく、いきなり鍵（錠）を壊して別の場所に新しい鍵（錠）を取り付けた。

作業後、合計約15万円を請求され、高いが仕方がないと思い支払ってしまった。（80歳代 女性）

【ひとこと助言】

緊急時なので慌ててしまいがちですが、広告の料金表示をうのみにせず、見積りだけの場合やキャンセルした場合の料金、出張費の有無などを依頼する際に十分確認しましょう。

今回のようなケースでは、事業者が現場を確認したうえで、初めて作業内容や料金が提案されます。事業者が作業に取り掛かる前に作業内容と料金を確認し、当初の想定とかけ離れた作業内容や料金であれば、無理にその場で判断せず、作業を断りましょう。

緊急時に備え、あらかじめ持っている鍵の種類やメーカーなどを確認し、信頼のおける事業者の情報を調べておくと安心です。

クーリング・オフできる場合もありますので、請求額に納得できない場合は、作業後であってもその場で料金を支払わず、消費生活センターなどにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系			外科系	耳鼻科
１月１日（祝）	竹越医院 ８４－３１３７	加藤医院 ８９－１０３１	公立館林厚生病院※ 76－8031<予約専用>	新橋病院 ７５－３０１１	－
１月２日（日）	おうら病院 ８８－５６７８	須田内科医院 ６３－１４１４	公立館林厚生病院※ 76－8031<予約専用>	小曽根整形外科 ７２－７７０７	－
１月３日（月）	たなか医院 ６２－２８８１	館林記念病院 ７２－３１５５	たけい小児科・アレルギー科※ ７６－２５２５	館林医院 ７４－２１１２	－
１月９日（日）	はまだクリニック ８０－１１００	長谷川クリニック ８０－３３１１		館林夜間急病診療所 ７３－２３１３	－
１月10日（祝）	蜂谷病院 ６３－０８８８	県西在宅クリニック館林 ５５－３８１８	小西医院 ８６－２２６１	堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	－
１月16日（日）	後藤内科医院 ７２－０１３４	菅沼医院 ７２－９０９０		田沼整形外科医院 ８８－９２２３	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
１月23日（日）	福田ペインクリニック ８４－１２３３	神尾内科医院 ７５－１２８８		真中医院 ７２－１６３０	－
１月30日（日）	おうら病院 ８８－５６７８	藤原医院 ８８－７７９７		高木整形外科 ６２－６６１１	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院　☎７２－３１４０（内科系・外科系） ◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター ☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●高木整形外科は、午前中のみの診察となります。　●館林厚生病院※の予約時間は、午前９時～午前11時（要電話予約）
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

地域に支えられたおかげでできた子育て

昔ながらの温かい子育て環境で皆さんにおいしいお弁当を提供

宮田ひとみさん

みやた　ひとみ　39歳
大字大高嶋　在住

基本的にお休みはあまりないそうですが、忙しい時間の合間に、お子さんのドッジボールの試合観戦をするのが楽しみだそうです。

お子さんが生まれ板倉町へ

長男が生まれることをきっかけに、板倉町に引っ越してきたという宮田さん。嫁ぎ先がお店をやっていたことから、お店の仕事をしながらの子育てが始まりました。

ご近所の皆さんにありがとう

今では３人のお子さんも、少しずつ大きくなってきましたが、それまではお店に立つのも、赤ちゃんをおんぶしながらという状態で、大変だったそうです。

それでも、ご近所の人が店に立ち寄ったりしたときは、子どもをあやしてくれたり、遊んでくれたり、ご近所ぐるみで子育てをしているような、昔ながらのよい子育て環境だと感じていて、とてもありがたいなあと思っていたということです。

チャレンジ

パンやお菓子を扱っている店舗ですが、店で出せる手作りサンドイッチの講習会が開催されていることを知りました。系列店ならではの講習会で、専門の先生から年４回の講習を受けます。

そこでは、サンドイッチをはじめ、クリスマスなどパーティー用のオードブルも身につけたそうです。その中でもやはり具がたくさんサンドされたサンドイッチは、見ただけでもうおいしいというのが伝わってきます。

次に取りかかったのが「お弁当」。バラエティー豊かなメニューを、板倉のお米と、なるべく地元産の新鮮野菜を使い、手頃な値段で提供しています。

地域に貢献、恩返し

子育てにお仕事に一生懸命な宮田さんですが、やはり疲れが出ることもあります。そんな時支えてくれるのが、ともに働くご主人だそうです。小さなことでも気づいてくれて、言葉をかけてくれることに感謝しているとのことでした。家族ぐるみでがんばる宮田さん。「これからは、いっそう地域に貢献して、恩返ししていきたい」と笑顔で話してくれました。

レポーター
広報編集委員
橋本玲子（はしもとれいこ）